

令和元～2 年度 第 1 回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録			
開催日時	令和元年 10 月 16 日（水）	会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者	担当副会長：大和田優 委員長：稲毛恒男 委員：中村輝守 竹島比佐子(欠) 金子 裕 横山尊重 石田 卓朗(代理出席) オブザーバー：YKK AP（株）秋山宏樹 福井コンピュータアーキテクト（株）原田慎一 横浜菱住（株）下村康祠(欠) 日本 E R I（株）寺越健太郎 三和シャッター工業（株）安田則之 （株）都市計画地盤研究会 安藤彰彦 議事録担当（中村）副委員長		
1. あいさつ			
2. 自己紹介			
3. 副委員長の選出 ・中村委員が副委員長に選出された。			
4. 技術専門委員会の活動目的 ・大和田担当副会長より説明がなされた。 ・BIM と低炭素（省エネ）に内容を絞り、会員向けの成果物を上げる。			
5. BIM について ・導入の課題として、コスト・導入後の操作方法が挙げられた。 ・BIM 同好会の設置案 ⇒福井コンピュータアーキテクトにて、神事協の BIM 導入事務所を調べて参考にする。			
6. 低炭素について ・国交省主催の「改正建築物省エネ法の詳細説明会」に参加する。 ・11 月 1 日、2 日の賛助会フェア&セミナーへの申込を行い、参加する。			
7. 令和 2 年度予算要求案について ・予算案を早目に作成する。			
8. 商品案内 ・YKK AP より、耐震、大型木造パネルの商品案内がなされた。 ⇒新しい技術を会員へ紹介していく。紹介方法については、今後協議していく。			
9. その他 ・次回委員会 12 月 10 日（火）14 時～ 神事協 2 階会議室 ・次回議題 ・三和シャッターの技術（商品）紹介 ・改正省エネ法講習会後の協議			
以上			

令和元～2年度 第2回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録			
開催日時	令和元年 12 月 10 日 (火)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室
出席者	担当副会長：大和田優 委 員 長：稲毛恒男 (欠) 副 委 員 長：中村輝守 (欠) 委 員：竹島比佐子 金子 裕 横山尊重 オブザーバー：石田卓朗 YKK AP(株) 秋山宏樹 福井コンピュータアーキテクト(株) 田中良明 横浜菱住(株) 下村康嗣 日本 ERI(株) 寺越健太郎 (欠) 三和シャッター工業(株) 安田則之 (株)都市計画地盤研究会 安藤彰彦 書記：横山 尊重		
(1) 三和シャッターの技術 (商品) 紹介 【防水商品の紹介】 ・防水シャッター：地下鉄駅の出入り口など 東京メトロとタイアップの実績あり ⇒ハザードマップに基づき順次取付予定 ・脱着式アルミ防水板：地下駐車場の出入り口など 金沢地区などで実績あり 最近の傾向から浸水高さを 1,000 mm以上とするケースが多い ・スイング式防水板：地下駐車場の入口など 藤沢市庁舎の実績あり その他市庁舎からの要望あり ・起伏式防水板 (自動浮力タイプ)：マンション駐車場の出入り口など 自動で浮き上がるタイプなので 深夜など管理人のいないマンションなどの新築計画などで依頼あり 防水商品の性能試験センターがあり、実物も見ることが出来る 半日≒2 時間程度の見学で 1 人からでも利用可能との事。 体感型ショールームの案内 (東京都板橋区高島平) をしてもらった。 性能試験センター、体感ショールームとも 4・5 月は例年混みあっている。 ⇒このプレゼン内容を A4 一枚程度にまとめて、会員へ情報発信したらどうか？ 次回の委員会時に提出して頂くこととなった (2) 改正省エネ法講習会後の協議 未だ委員が講習会へ参加していないので、次回の委員会時に報告となった。 ・12/13 (金) 戸建住宅・小規模非住宅 講習会 (横山参加予定) ・12/24 (火) 中大規模の住宅・非住宅 講習会 (金子設計 石田さん参加予定) (3) 委員会規定について 大和田担当副会長より説明があった その他 【BIM について】 ・金子設計では導入を開始したが、意外と使ってみると感覚的に操作しやすく使える。 ・福井コンピューターさんより神奈川県 (神事協以外も含めて) で 30 社程度の導入が本年度あったとの事。 平均すると 1 社あたり 2 台程度の導入 ・ユーザー会の開催で意見交換をすることは可能 昨年のような講習会を実際の使い方やこんな使い方ができるといった、より実践的な内容にブラッシュアップして、継続的にやるのはどうか？ ⇒次回の委員会でセミナーの検討、検討書を作成して頂くことになった。 ・前回の YKKap さんの耐震・大型木造パネルの紹介のデータを事務局へ送ってもらう。 ・賛助会の中でも、当委員会のメリットなどを発信してもらう。 ・委員会のはじめに賛助会 3 社程度にミニプレゼンをやってもらい、良かったものに関しては情報をメールなどで会員に発信する。 ・支部やブロックなどの勉強会へ発展する。			

次回委員会 2月開催予定⇒調整くんで調整する
次回議題 福井コンピューターさんのセミナー企画ほか賛助会さんのミニプレゼン
改正省エネ法講習会後の報告・協議

以上

令和元～2年度 第3回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録			
開催日時	令和2年2月17日（水）	会 場	（一社）神奈川県建築士事務所協会 2階会議室
出席者 （○）	担当副会長：×大和田優 委 員 長：○稲毛恒男 副 委 員 長：×中村輝守 委 員：○横山尊重 ○金子裕 ○竹島比佐子 オブザーバー：×YKK AP(株) 秋山宏樹 ○福井コンピュータアーキテクト(株) 田中良明 ○横浜菱住(株) 下村康嗣 ○日本 ERI(株) 寺越健太郎 ○三和シャッター工業(株) 安田則之 ○(株)都市計画地盤研究会 安藤彰彦 ○中央開発(株) 西原聡		
1. あいさつ（略） 2. 各種報告 ・前回議事録の確認：横山氏より前回議事録の要点を読み上げ ・福井コンピュータよりB I M講演会の紹介。 京都在住のユーザーに来て貰い、講演をして貰う場合、講師料10万＋交通費が必要。（田中氏） 技術専門委員会では費用の負担は難しい。もう少し違った方法を模索する。（稲毛委員長） 3. 議題 （1）賛助会セミナー企画ほかミニプレゼン ・昨年まで企画委員会でプレゼンの機会を得ていたが、技術専門委員会において商品や工法などをアピールしてもらい、有意義な情報は会員に発信していきたい。（大和田担当副会長） ・委員会の議題最後に3社ほど、各10分程度のプレゼンの時間を設ける。 ・ミニプレゼンについては、賛助会委員会において各社の意見を募りまとめていく。（安藤氏） （2）改正省エネ法講習会後の報告・協議 戸建て・小規模：（横山氏より報告） ・改正のポイントは主に次の三点。 ① 計算が省力化されている ② 施主への説明義務が生じる ③ 図書の保管 中大規模： ・講習会に参加できず、報告なし。 審査機関：（寺越氏より報告） ・審査機関用の資料は中大規模とほとんど同じ。 ・中規模（300～2000 m²）建築物は届出義務から適合義務に変更。 ・施主へは適合しているかしていないかの説明を行う義務が生じる。 ・2021年4月以降に省エネを提出する物件から改正後の基準とする。 ・施主への適合説明の内容、様式などは具体的にまだ決まっておらず、今後国交省から何らかの指導が出ると思われる。 ※会員への情報発信は詳細の出方を待ってから行う。（大和田担当副会長） 4. その他 （1）次回日程 技術専門委員会 4月22日 14時00分～16時			

開催日時	令和2年10月13日(火)	会 場	WEB会議
------	---------------	-----	-------

出席者

担当副会長：大和田優（欠）
委員長：稲毛恒男
副委員長：中村輝守（欠）
委員：竹島比佐子 金子 裕（欠） 横山尊重

1. あいさつ

2. 各種報告

3. 議 題

(1) 令和3年度事業計画案および予算要求案策定について

- ・ 今年度はコロナ禍により活動が難しく、ほとんど動けていない。来年も今年度同様、通常通りの活動、対面講習の実施は厳しいのではないかな。
- ・ 技術専門委員会活動：BIM、ZEB、ZEH
- ・ Webを活用。1.賛助会情報発信メーリングの継続 2.Web講習会（省エネ関係 神事協バージョンのマニュアル作成・プログラム入力方法等）ERI等賛助会にお願いし、実施を検討

⇒

- ・ 予算要求の作成は、前年度ベースでWeb講習会の実施想定に変更し、作成。印刷費のみ削除する。
- ・ 講習会は、省エネ講習会を実施の方向で検討。

(2) 今後の活動について

- ・ 講師をお願いし、BIM Web講習会は可能か、賛助会オブザーバーに確認。BIMの普及。
- ・ 本会の進めているDXにより、デジタル化の推進がされている。技術専門委員会も他委員会との連携で講習実施等も考えられるのでは。
- ・ コロナ禍により、在宅勤務が増えている。働き方改革の推進もあり、今後IT化が進んでいくのでは。
- ・ 事業継続に係る補助金の活用について 個人事務所は情報入手が難しい。技術専門委員会とは分野が異なるが、必要な情報なのでは。

⇒

- ・ 次回委員会で、賛助会オブザーバーも交え検討する。

4. その他

(1) 次回委員会の開催日程

- ・ 12月初旬（1～2週目） 賛助会オブザーバーを交えたZOOM会議
- ・ 日程は調整後、決定する。

(2) 次回議題

- ・ 次年度の活動について、省エネ法

以上

令和元～2年度 第5回 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 技術専門委員会 議事録			
開催日時	令和2年12月3日(木)	会 場	WEB会議
出席者	担当副会長：大和田優 委員長：稲毛恒男 副委員長：中村輝守 委員：竹島比佐子 金子 裕(欠) 横山尊重 オブザーバー：YKKAP(株) 秋山宏樹 福井コンピュータアーキテクト(株) 田中良明 横浜菱住(株) 下村康嗣 日本ERI(株) 寺越健太郎 三和シャッター工業(株) 安田則之 (株) 都市計画地盤研究会 安藤彰彦		
1. あいさつ ・ 大和田副会長 2. 各種報告 ・ 今年度の活動がコロナ禍により暫く出来ていなかったが、次年度の予算編成のため、10月13日に委員のみで委員会（WEB会議）を開催した。 3. 議 題 (1) 今後の活動について (検討内容) ・ 技術専門委員会は、2か年限定の活動。来年度が改選時期となる。次年度の活動については検討中により不明確な部分がある。賛助会の求める今後の活動案があればお聞かせいただきたい。活動案として提案したいと考えている。 (大和田副会長より 直近の課題として挙がっている内容) ・ 来年4月～ 省エネ法改正。施主への説明責任や、届出書類提出等。実務に即した内容の講習が少ないので、そのような講習を会員向けに行ってもよいのでは。 ・ 神奈川県の市町村では技術職員のいない自治体もある。会員事務所のうち、支援事業の出来る会員を講習に派遣・名簿化し、各市町村に支援事業のアピールをする動きが出てきている。 ・ コロナ禍の中、目標を絞りこんだ明確な活動が必要なのでは。 ・ 技術専門委員会の情報提供メーリングは好評。 (意見等) ・ (稲毛委員長) 現在実施の改正省エネ法 WEB 講習に参加したが、実務的な内容ではなく、活用が難しい。会員向けにためになる講習が出来ないか。 ・ (ERI 寺越氏) 自社で改正省エネ法に関する講習の WEB セミナーの準備をしている。(基本編 20 分、実務編 90 分の 2 種類) 省エネ適判の説明中心。神事協会員向けに WEB セミナーの実施は可能だが、建築主への説明義務に関する説明が少ないので、いかがか。 ・ (大和田副会長) 施主に説明しないといけない内容は何か、を知ることが会員は求めている。会員事務所の業務は、300㎡以下の物件業務が 7 割ほどと圧倒的に多く、適判に関する業務を実施している事務所は少ないのでは。 300㎡以下の物件の場合の算出は、簡易法または外皮計算により可能だが、簡易法だと大きく値が出てしまい、クレームの来る可能性がある。外皮計算スキルが必要では。 大規模な物件は、設計途中に関連する内容となるので、モデル計算法を基本設計の段階で理解する必要があるのでは。 →適判の前段階の内容の講習を実施し、スキルを身に着ける講習が出来ると意義があるのでは。 ・ (中村副委員長) 参集しての講習会は控える会員がいるので、本会 HP で調べられる項目があればよいのでは。 ・ (竹島委員) 制度的な内容は皆様認識しているのでは。今後知りたい内容は、適判の必要な内容を、軽微な変更が可能か、等自分たちで判断できるような知識が欲しい。技術的な内容の講習があるとよいと考える。 ・ (横山委員) 実務的な内容、実例を出した講習が欲しい。WEB を介して、実際に触りながら実施することが出来ればよいのでは。 情報メールの配信は、会員皆に情報が行きわたり良い。			

- ・（YKK 秋山氏）改正省エネ法でサッシ基準が変わるので、お客様説明用の資料を準備中。簡易的な外皮計算が無料でダウンロード出来るような仕組みを構築中。 →時期が来たら案内してください。
- ・（福井田中氏）実務者として知りたい部分をテーマにした内容の講習の実施がよいのでは。自社ソフトを使用した説明は出来るが、ソフトを限定せず説明できるとよいと思う。オンラインセミナーの実施はよいのでは。自社で数百人単位のセミナー発信を実施している。→年明けの ERI 講習実施後の次の講習として、WEB セミナーを依頼したいと考えている。
- ・（ERI 寺越氏）11 月～3 月に 20 分ほどの省エネ適判概要の無料 WEB セミナー（登録制）をオンデマンド配信予定。別途案内します。
- ・（菱住下村氏）個々に問題点が違うと感じる。技術専門委員会の問題点をまとめ、その内容に関連する賛助会が一堂に会してオンライン説明会を実施するとよいのでは。
- ・（大和田副会長）神事協では、現時点で 100 名ほど参加可能の WEB セミナーを開ける体制あり。
- ・（三和安田氏）具体的事例に沿った WEB セミナー、ミーティングを、興味のあるかたで旬なテーマを進めていけばよいのでは。事前によくある質問を示しておき、質疑応答を実施する、等より有意義な時間となる工夫をし、実施するとよいのでは。
- ・（都市計画安藤氏）エレベーター連絡通路工事を実施した際、高圧噴射ジェットという建築では実施していない地盤改良の新技术を導入した。新技术を紹介していきたい。 →今後機会があれば紹介下さい。

⇒ 年明けに ERI にて 90 分の会員向け改正省エネ法 WEB 講習会を設定頂き、無料講習を発信頂く。
日程を ERI 寺越氏よりいくつか提示頂き、18 日統括委員長会で調整する。
※後日大和田副会長、稲毛委員長、ERI 寺越氏相談のうえ、ERI にて実施の「オンデマンド Web セミナー」の案内を配信することとなった。

⇒ 次年度以降も省エネ法等、技術的な講習会を主催・会員向けに開催出来る委員会を継続することを、本会へ求める。

4. その他

（1）次回委員会の開催日程

- ・ 2 月 3 日（水） 10 時～WEB 会議
- ・ 省エネ法や、それ以外に実施したい内容を次回委員会までにご提案ください。
- ・ 今後会員・賛助会と協働で実施できる内容をご提案ください。

開催日時	令和3年2月3日（水）	会 場	WEB 会議
出席者	担当副会長：大和田優(欠) 委員長：稲毛恒男 副委員長：中村輝守(欠) 委員：竹島比佐子 金子 裕 横山尊重 オブザーバー：YKK AP（株）秋山宏樹 福井コンピュータアーキテクト（株）田中良明 横浜菱住（株）下村康嗣(欠) 日本 E R I （株）寺越健太郎 三和シャッター工業（株）安田則之 （株）都市計画地盤研究会 安藤彰彦		
1. あいさつ			
2. 各種報告			
・ 改正省エネ法について、日本 ERI 20 分講習の配信を会員メーリングにて周知した。			
・ 2/2 ERI の改正省エネ法セミナーに稲毛委員長、竹島委員参加。→2 回目以降の実施を検討中とのこと。			
3. 議 題			
(1) 今後の活動について			
・ 外皮計算熱貫流率が 4 月以降変更となる。YKK AP より WEB カタログ発行予定。			
・ 三和シャッター 2/9 神事協マンションセミナーに参加予定。防災関係の対応可。動画、カタログ等で紹介可。→セミナー形式で 15～20 分程度の説明可。			
・ 神事協会議室に賛助会数社で集まり、テーマ毎にウェビナーで会員向けに情報発信をしたらよいのではないか。			
・ 来年度委員会改変がある可能性があるが、情報発信は引き続き続けていく必要がある。			
・ 福井コンピュータ BIM の取り組み発信、セミナー、体験会を WEB で実施している。引き続き発信していければと考えている。また、賛助会の情報発信の場も引き続きあればよいと考えている。 →中長期的な情報発信 タイムスケジュールを提示いただければよいのでは。また、体験会のように実際に使用できる機会があればよいのでは。			
・ 施主への説明義務に特化したセミナーを開いてほしいとの要望がある。神事協は、300 平米以下の物件を扱う会員が大半。ERI で企画できないか。			
・ 都市計画地盤研究会 神事協会員と受けている仕事で、現場から中継し WEB 会議を実施予定。 →現場を撮影し発信する試みは、現地に行けない現在の状況ではよいのでは。			
4. その他			
次回委員会の開催日程			
4 月 8 日（木）10 時～11 時 WEB 会議			

開催日時	令和3年4月8日（木）	会 場	WEB 会議
出席者	担当副会長：大和田優 委 員 長：稲毛恒男 副 委 員 長：中村輝守(欠) 委 員：竹島比佐子 金子 裕 横山尊重 オブザーバー：YKK AP（株）秋山宏樹(欠) 福井コンピュータアーキテクト（株）田中良明 横浜菱住（株）下村康嗣 日本 E R I（株）寺越健太郎(欠) 三和シャッター工業（株）安田則之 （株）都市計画地盤研究会 安藤彰彦		
1. あいさつ ・ 稲毛委員長 2. 各種報告 ・ 前回議事録の確認 ・ 2/9 神事協マンションセミナーに参加。5～10 分パワーポイントにて自社製品の紹介。（三和シャッター）今後も同様の機会が持てると良いと考えている。 ・ 今年度新組織となるが、3 月 19 日理事会に示された機構図内に技術専門委員会がなかった。技術専門委員会の継続は必要である旨、稲毛委員長から話している。 3. 議 題 （1）今後の活動について ・ 賛助会として Web セミナー開催は可能なのか。（稲毛委員長） →賛助会での検討が出来ていないので、現状では回答できない。（安藤賛助会長） ・ 技術専門委員会の存続について、どのように考えているか。 →5/19 理事会で機構図は確定しない。4/2 相談役・参与会ならびに 4/9 支部長会にて意見集約をする。機構図の決定は総会後、新理事の決議で決定する。技術専門委員会の存続については、理事会に提案すれば、議論され決定するのでは。一方委員会を減らすべきではないかとの意見もある。技術専門委員会は賛助会も参加し、ほかの委員会にはない形態をとっている。形を変えてとなる可能性もあるが、新理事と議論の上決定するのでは。専門委員会は期限を設定し活動していく形態を想定している。総会後すぐ始めなくても問題ないのでは。（大和田副会長） ⇒技術専門委員会存続について、提案書を稲毛委員長にて作成し、5 月理事会にて提出する。また、安藤賛助会長からの賛助会としての技術専門委員会に対する意見も記載する。 （委員の意見等） ・ 賛助会との協力、技術的側面の情報共有は、委員会存続にかかわらず今後も続けていくべき。改正等の最新の情報をタイムリーに共有することが会員のメリット・賛助会の利益につながる。 ・ 賛助会からの情報は、仕事に役立っている。今後も継続して情報を得られる形が欲しい。 ・ Web での会議は今後も続けていきたい。 （賛助会の意見等） ・ 賛助会として、最新情報の発信が出来ていければ、様々な形で関わっていきたい。 ・ 賛助会の技術共有の場がオンラインでも良いのであれば良い。 ・ 4 月から日事連との BIM キャンペーンが始まっている。神事協へもチラシ配布やメーリング配信を検討している。（福井コンピュータ） →BIM を導入したが、習得が難しい。今後もオンライン発信やセミナー等を検討していただければ。 ・ 賛助会からの情報提供メーリングは、新広報情報委員会にて継続して実施できるようになる予定。（大和田副会長） ・ 次回以降へ持ち越し：外皮計算 Web カタログについて（YKK AP）、改正省エネ法セミナーについて（日本 ERI）			

4. その他

- ・ ブロック塀改修工事内容の紹介：石積み擁壁の上にブロック塀を積み、土地を広げたが、地滑りを起こした。係争中。(安藤賛助会長)

次回委員会：技術専門委員会存続の場合、新旧委員にて委員会を開催する。